

〔編集後記〕

本号は豪日交流基金学術調査奨励金による研究成果である。『社会科学ジャーナル』としては第2回目の「オーストラリア特集号」であり、前回同様、学際的内容を持つ。いかなる政治勢力にも影響される事のないアカデミックな成果が得られた。さらに、日々ゆれ動くジャーナリストティックな豪州理解とも異なり、基本的なオーストラリア理解に資する所が大であろうと自負している。各報告者は、オーストラリア滞在にもとづく密度の濃い研究にとり組んだ。その労を多としたい。

当社会科学研究所は環太平洋地域の現代的重要性をふまえ、この地域の学際的研究を続行してゆく、その出発点としてオーストラリアをとらえた。幸先の良い門出となった事を所員一同喜んでいる。

(藤田 忠 記)